

小金湯さくらの森公園桜類の観察と処置

2024 年 12 月 樹木医 金田正弘

1. 春の観察と処置 (5 月 9 日)

(イ) サトザクラ試験植栽地の手入れ



着工前



完成

2022 年植栽した 7 種類のサトザクラは、3 年目を迎えました。紅華（こうか）が枯れてしまい、あとに松月（しょうげつ）を補植しました。地際周辺の除草をしています。

(ロ) 試験木の開花の状況 (5 月 9 日)



楊貴妃の開花



一葉の開花

楊貴妃は満開で、一葉が開花しはじめたようです。アーコレード、神代曙は、すでに散ってしまっていました。大漁桜、舞姫、植替えた松月は、まだ開花が少ないようです。来年以降に期待をしています。

(ハ) シンボルツリーの現況



エゾヤマザクラ



釧路八重

シンボルツリーのエゾヤマザクラは、花が散ったあとでした。釧路八重は、蕾が膨らみこれから開花するようです。いずれも樹冠部が大きくなり、展葉も良好なようです。

(二) 園内桜類の開花



南殿（なでん）の開花



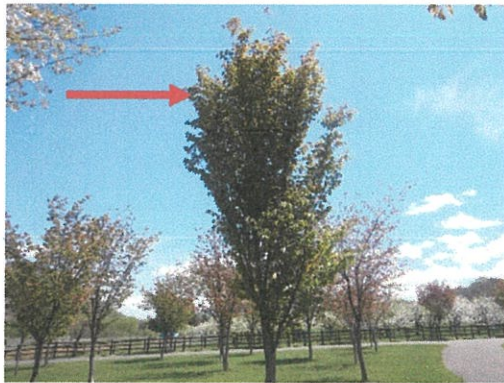
糸括（いとくくり）の開花



霞桜（かすみざくら）の開花

サトザクラの中咲き種の南殿（なでん）、糸括（いとくくり）が咲いていました。遅咲きの関山、うこん、普賢象（ふげんぞう）、天の川等は、これから開花のようです。園内には、野生種の霞桜（かすみざくら）が植栽されていないはずでした。複数本あるようです。白い一重の花が咲いています。

(ホ) サクラ類てんぐ巣病の発生



エゾヤマザクラのてんぐ巣病枝



ソメイヨシノのてんぐ巣病枝

いずれも開花が終り若い緑葉枝の一部にサクラ類てんぐ巣病 (*Taphrina wiesneri*) の被害枝が発生しています。この2種類に多く被害枝が発生し、サトザクラ関山等にも少し発生しています。

園内の管理作業の方々と一緒に被害枝を切除し処分しました。切り口は、保護剤(トップジン M ペースト)を塗布しています。サクラ類てんぐ巣病被害枝は、今後も発生するため観察と処置(切除)が必要です。

(ヘ) オビカレハ幼虫の発生



オビカレハ幼虫の発生

エゾヤマザクラ、ソメイヨシノの枝にオビカレハの幼虫が発生しています。枝に糸を張りテントのような巣をつくることから天幕毛虫とよばれています。毒はありませんが発生固体が多く不快な幼虫です。

食葉性の毛虫なので葉の出現にあわせて発生するようです。幼虫の捕殺、MEP 乳剤の散布で防除します。

(ト) ジューンベリー (アメリカザイフリボク)



ジューンベリーの開花

園内は、多くのジューンベリーがあり白い花を咲かせています。北アメリカ原産バラ科の落葉広葉樹で高さ2~4mになります。8月紫色の果実がなり食べられるそうです。

2. 夏の観察、処置（8月28日）

（イ）試験植栽地の手入れ



着工前



完成



除草状況



穴あけ施肥

夏の緑葉期に入りました。根系周辺の除草（人力抜根）と穴あけ施肥（まるやま 3 号固形肥料、混合土、化成肥料）をしました。

緑葉最盛期に入り旺盛な光合成活動がなされ、この時期の施肥は、桜類の肥大成長につながると期待しています。

（ロ）シダレザクラの手入れ



着工前



完成



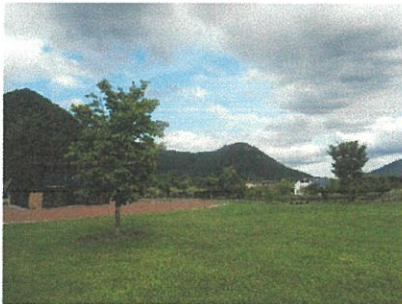
着工前



完成

園内は、シダレザクラの若木を植栽しています。しだれた枝の切り詰めと根系周辺の除草及び施肥を管理の皆さんと実施しました。

(ハ) シンボルツリーの景観



2本のシンボルツリー



エゾヤマザクラ



クシロヤエ

2本のシンボルツリーは、園の造成時植栽された桜の大径木です。近年、根系周辺の施肥（円山動物園の堆肥等）の効果がでてきたようです。葉の大きさ、色は良好で樹冠幅も少しずつ伸長しています。公園のシンボルとして良形木の景観を期待しています。

(ニ) サトザクラに発生したカイガラムシ



カイガラムシの発生

サトザクラ南殿の枝に白色のカイガラムシが発生しています。発生原因は不明ですができるだけ削り落とし、保護剤を塗布しました。サトザクラ類に散見されるようです。

(ホ) 胴枯病による葉の褐変



枝枯れと葉の褐変

枝からヤニの発生

夏の暑い時期は、樹冠の一部に枝枯れと褐変した葉が目立つようになります。その枝の付根を見るとヤニ状物質が発生しています。これらは、枝枯、胴枯病による症状です。ヤニを含め切除するしか方法がありません。

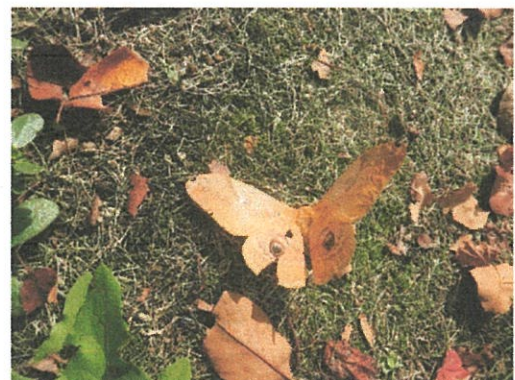
(ヘ) 千島桜の葉の日焼け症状



葉の日焼け

8月は、連日日中の気温が30℃を越す猛暑だったと思われます。千島桜の葉の緑の一部が褐変しています。他に数個体同様の症状が発生していました。特に寒さに適応した千島桜、エゾヤマザクラの葉に発生するようです。日焼け症状が開花、生育にどのように影響するか観察しなければなりません。

(ト) クスサンの成虫



クスサンの成虫

昨年一部の市内で大発生したクスサンの成虫を見つけました。成虫は10cm程と巨大です。黄褐色の落葉と見まちがう形姿をしていました。

3. 秋の観察と処置 (10月15日)

(イ) サトザクラ試験植栽地の手入れ



着工前



完成

(ロ) 試験木の現況



①大漁桜



②楊貴妃



③アーコレード



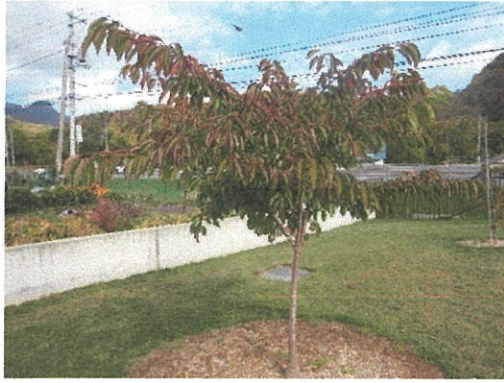
④松月



⑤舞姫



⑥一葉



⑦神代曙



⑧枝垂桜

アーコレードは、紅葉が過ぎ落葉していました。⑦神代曙、⑧枝垂桜は、今紅葉しています。①大漁桜ほかは、暖地産のサトザクラなのかまだ緑葉のままです。松月は、春の補植で1m程と小さな苗木です。

(ハ) サトザクラの外科処置



糸括幹の腐朽

サトザクラは、耐寒性の弱い品種があります。幹の腐朽、胴枯が発生しやすく枯損する場合があります。患部の除去（切削り整形）後保護剤を塗布しました。

(ニ) シダレザクラの剪定



着工前



完成

シダレ性の枝は、普通の枝より長く伸長します。地面につく勢いです。切詰め剪定し整枝しました。下枝を切り上部に樹冠を伸長させなければなりません。

(ホ) 紅葉状況

①千島桜の紅葉



千島桜の紅葉

園の前面は、多くの千島桜が植えられています。中には、花色の赤い国後陽紅（くなしりようこう）があり貴重です。千島桜は、秋に早く紅葉し落葉してしまい見られる機会が少ない樹種です。この時期当園では、きれいな赤色、オレンジ色の紅葉が見られました。

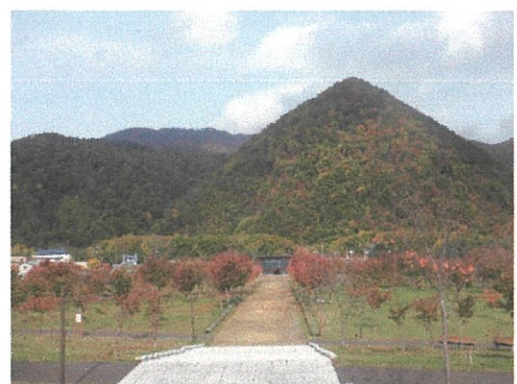
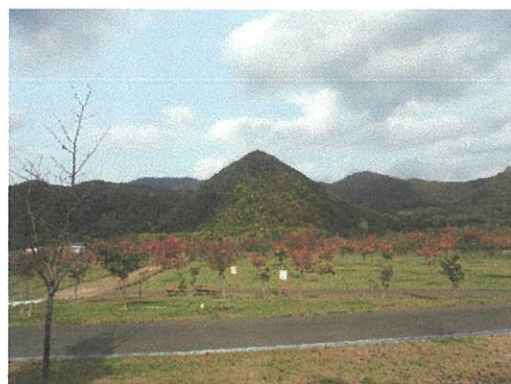
②エゾヤマザクラの紅葉



エゾヤマザクラの紅葉

まだ緑色の葉もありますがエゾヤマザクラの紅葉は、きれいで見頃です。並木状のエゾヤマザクラ紅葉は、圧巻でこれに勝る桜類がありません。

③園内の全景



後方から紅葉の景観

サトザクラの紅葉は遅いため見頃がこれからのお楽しみです。園の後方山頂からの景観は、近隣の山並みの紅葉と相まって大変きれいです。都市緑地から見える紅葉でこれほどの景観は珍しいように感じました。

④その他樹木の紅葉



ナナカマドの紅葉



カツラの黄葉



コキアの紅葉

本数は、少ないもののナナカマド、カツラ等の紅黄葉がとてもきれいです。桜類だけでなく他の樹木があるのも園の特徴です。管理の方々が植えたコキアは、真赤になり来園者を喜ばしているようです。

樹木の紅葉は、空気が澄んで朝夜の寒暖差の著しい所がきれいになると言われています。小金湯は、その代表的な場所と思われます。多くの市民が訪れる観桜と紅葉狩りの名所になることを期待しています。